

## シンポジウム開催趣旨

川越市は、大正 11 年（1922 年）12 月 1 日に県下初の市制を施行し、本年、市制施行 90 周年という大きな節目の年を迎えました。

本市は、都心から 30 km 圏内に位置し、豊かな自然と先人の努力により育まれた文化、伝統を生かし、古くから県南西部地域における中心都市として発展してきました。

一方では、長引く経済不況、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、国際化・高度情報化の進展、環境問題の深刻化など対応すべき課題が山積しています。このような状況において、市民の皆様の様々なニーズに対応し、持続的に質の高い行政サービスを提供するため、行政改革の徹底や財政基盤の強化など、これまで以上に効率的かつ効果的な自治体運営に努めていくことが求められています。

そこで、この市制施行 90 周年という記念すべき年を更なる本市発展の契機と捉え、快適で安心できる暮らしづくり、未来に希望の持てる魅力あるまちづくりへの新たな第一歩を踏み出すため、10 年後の市制施行 100 周年に向けて「住み続けたいまち、住んでみたいまち」の姿を皆さんと共に考えます。

## コーディネーター・パネリスト紹介



きしい たかゆき  
**岸井 隆幸** Takayuki Kishii

日本大学理工学部土木工学科教授・博士（工学） 前公益社団法人日本都市計画学会会長  
1953 年神戸市生まれ。東京大学大学院修士課程（都市工学専攻）修了後、1977 年に建設省入省。1992 年建設省を退職し、日本大学理工学部土木工学科専任講師（同年東京大学より学位授与）、1995 年に同助教授、1998 年同教授、現在に至る。平成 7 年度（社）交通工学研究会 研究奨励賞、平成 9 年度 日本大学理工学部学術賞、平成 21 年度（社）日本都市計画学会 年間優秀論文賞を受賞。著書は「人口減少時代の都市計画」学芸出版（2011/共著）、「駐車場からのまちづくり」学芸出版（2012/共著）等多数。また、東京都景観審議会会長など、各種審議会等で活躍。



つゆき しげる  
**露木 茂** Shigeru Tsuyuki

フリーアナウンサー、東京国際大学  
特命教授、小江戸川越大使

1940 年東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、38 年にわたり「フジテレビの顔」として活躍。定年後フジテレビ特別アドバイザーを経て、

2002 年フリーに。ジャーナリスト、キャスターとして活躍中。趣味の「音楽」にも熱心で、精力的にライブ活動も行っている。2002 年から東京国際大学国際関係学部教授、2011 年から同大学特命教授。2003 年から 2011 年まで早稲田大学客員教授。



たちらは まさお  
**立原 雅夫** Masao Tachihara

川越市姉妹都市交流員会代表  
川越商工会議所副会頭

1948 年新潟県生まれ。川越市在住。慶応義塾大学工学部卒業。立原電機株式会社代表取締役。長年にわたり川越市姉妹都市交流委員会代表として本市

の国際交流の推進に貢献。また、川越市総合計画審議会会長として第三次川越市総合計画後期基本計画を策定。その他、川越市都市計画審議会委員、小江戸川越観光親善大使、川越市市制施行 90 周年記念事業実行委員会理事など、多岐にわたり本市まちづくりに貢献。



にしもと ちひろ  
**西本 千尋** Chihiro Nishimoto

株式会社ジャパンエリアマネジ  
メント代表取締役

1983 年川越市生まれ。川越女子高校、埼玉大学経済学部卒業。大学卒業後 2005 年に、まちづくりの調査研究会

社、株式会社ジャパンエリアマネジメントを設立、代表取締役社長に就任。自律・自立的な地域の研究と実践に携わる。埼玉県景観審議会委員（2010 年、2011 年）、荒川区景観計画策定委員（2010 年）。地方公共団体、大学、各種団体等が主催する「まちづくり」をテーマにした講演会の講師を数多く務める。



はら たかゆき  
**原 崇之** Takayuki Hara

大学生（早稲田大学創造理工学部  
建築学科）

1992 年大阪府生まれ。小学 6 年生から川越市在住。2006 年、セーラム市訪問中学生交流団の一員として本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市を訪問。その後、2012 年に川越市成人式実行委員として成人式の企画運営に携わる。その他「市長と新成人による新春座談会」において、まちづくりへの思いを語るなど、数多く市政に参加している。趣味はテニスと絵画。